

公立千歳科学技術大学

令和4年度 事務端末リプレイス 調達仕様書

事務用端末調達

事務作業用端末のリプレイスを行うため、下記機材の調達及び作業を依頼する。

事務用端末本体・・・70台

- ・ OEM版の windows10 もしくは windows11 が付属していること
- ・ CPUは Intel Core i5 Comet Lake(第10世代)以降の性能であること。また、64bit版のOSを動作できること。
- ・ メモリを8GB以上備えること
- ・ 下記の組み合わせにて、同時に2系統以上の画面出力ができること
 - HDMI(ver2.0以上)1ポート+ DisplayPort 1ポート
- ・ SATA もしくは NVMe に対応した記憶容量128GB以上の内蔵フラッシュメモリディスク(以下SSD)を備えること
- ・ 1000BASE-T インターフェースを備えること
- ・ 前面に USB Type-A (バージョン 3.2 以上)インターフェースを2ポート以上備えること
- ・ 前面に USB Type-C (バージョン 3.2 以上)インターフェースを1ポート以上備えること
- ・ 背面に USB インターフェースを4ポート以上備えること
- ・ 前面からアクセスしやすい位置にステレオミニジャックによるヘッドフォン出力ポート及びマイク入力ポートを備えること
 - ヘッドフォン及びマイクロフォンが一体化されたポートでもよい
- ・ 本体ケースのサイズは横置き状態で高さ 55(mm)、幅 200(mm) 奥行き 200(mm)を超えないこと
- ・ Microsoft windows 11 の動作要件を満たすこと
- ・ 光ディスク装置を備え、本体に内蔵もしくは一体化すること
 - CD-ROM 媒体は最大 24 倍速以上、DVD-ROM 媒体は最大 8 倍以上で読み込み可能であること
 - CD-R 媒体への書き込み速度は最大 24 倍速以上、DVD+R 及び DVD-R 媒体への書き込み速度は1層書き込みで最大 8 倍速以上、DVD+RW 及び DVD-RW 媒体への書き換え速度は最大 6 倍速以上であること
- ・ メーカー標準保守のみとすること(ただし最低限の保守として導入1年未満の故障については交換の対応を行うこと)

マウス・・・70台

- ・ レーザ方式であること
- ・ 光沢机でマウスパッド無しに操作が可能であること
- ・ 事務作業用端末背面のポートへ有線接続すること
- ・ マウスの保守は不要

キーボード・・・70台

- ・ 日本語 109 キーボードであること
- ・ Windows キーを備えること
- ・ かな文字キーを備えること
- ・ 事務作業用端末背面のポートへ有線接続すること
- ・ キーボードの保守は不要

ディスプレイ ワイド型(27インチ)・・・70台

- ・ デジタル入力ができること(DisplayPort、HDMI または DVI など)
- ・ 縦横比は 16:9 または 16:10 とすること
- ・ 横 1920 ピクセル以上、縦 1080 ピクセル以上の画素数を有すること
- ・ 対角 27 インチ以上の表示エリアを有すること
- ・ 最大同時表示色が 1677 万色以上であること
- ・ LED バックライトを用いていること
- ・ 応答速度は 8 ミリ秒以下であること
- ・ メーカー標準保守のみとすること(ただし最低限の保守として導入 1 年未満の故障については交換の対応を行うこと)

導入支援作業について

- ・ windows10 LTSC のひな形を作成し、調達する全ての端末にインストールを行うこと
 - ひな形には事務で利用するために本学がライセンスを所有する各種アプリケーションのインストールを行う事
 - ◇ 事務システム、財務システム、人給システムの動作確認を行う事
 - ◇ 32bit 版 office の動作確認を行う事(事務システム連携にて必須)
 - 事務システム認証用に構築している既設の ActiveDirectory のドメインに参加させること
 - ひな形展開後に各課が所有する各種ソフトウェアのインストールを行い利用できるようにすること
- ・ 本学別途用意する設定書に従い IP アドレスや AD, DNS の設定を行うこと

- プリンタドライバのインストールを行い、既設設備のプリンタを利用できる状態にすること
 - 各課に割り当てられている3桁のユーザコードをプリンタドライバ(プロパティ)に設定すること
- 本学にて事務作業を行っているエリア(事務棟、10年記念棟、研究棟)の決められた場所に端末を設置すること
- 既設の端末70台に対して本学が所有するライセンスを所有するWindows10にてクリーンインストールを行う事
- 事務室外に設置されている、事務システムや統合DBメンテナンス用の端末も現状と同じ環境とすること